

2006年3月2日

## 住友化学とダウ・アグロサイエンスが新規殺虫剤を共同開発

住友化学株式会社（「住友化学」、本社 東京）とダウ・アグロサイエンス LLC 社（「ダウ・アグロサイエンス」、本社 米国 インディアナポリス）は、日本における新規殺虫剤の共同開発契約を締結し、農薬登録を取得するための作業に着手することに合意しました。この殺虫剤 S-1947 は、ダウ・アグロサイエンスの革新的な化学技術により発明されたもので、農作物の生産に大きな被害を与える鱗翅目害虫、総翅目害虫やハモグリバエ類に優れた防除効果を発揮します。

日本における S-1947 を含む製剤の販売は住友化学が行い、日本における上市は 2010 年を予定しています。米国、EU 等日本以外では、ダウ・アグロサイエンスが販売します。

S-1947 は、土壌放線菌 (*Saccaropolyuspora spinosa*) が産生する活性物質に由来する新しい殺虫剤です。鱗翅目害虫、総翅目害虫やハモグリバエ類等の難防除害虫に優れた防除効果を発揮するとともに、人畜および環境に対する安全性も高く、野菜、茶、果樹および水稲分野で使用可能な大型殺虫剤です。

住友化学は、石油化学から情報電子、ライフサイエンス分野にいたるまでグローバルに事業を展開する日本の総合化学メーカーです。農業化学は住友化学の中核事業の 1 つであり、世界 110 カ国以上に事業展開し、農薬の売上高は 12 億ドルに達しています。日本においては野菜、茶、果樹、水稲、家庭園芸等の分野で幅広く事業展開しており、今後も農薬、肥料、飼料添加物等の新製品の開発・販売を行い、ユーザーのニーズに応えることにより農業生産性の向上への取り組みを総合的に進めてまいります。

( <http://www.sumitomo-chem.co.jp> )

本件に関するお問い合わせ

住友化学株式会社

IR・広報部

電話：03-5543-5102